

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和6年4月16日(2024.4.16)

【国際公開番号】WO2022/163416

【出願番号】特願2022-578252(P2022-578252)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30(2006.01)

H 1 0 K 50/86(2023.01)

H 1 0 K 59/10(2023.01)

B 3 2 B 7/023(2019.01)

B 3 2 B 27/00(2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 5/30

H 1 0 K 50/86

H 1 0 K 59/10

B 3 2 B 7/023

B 3 2 B 27/00 B

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年4月4日(2024.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結晶性を有する重合体を含む樹脂(a)からなる層(A)と、  
前記層(A)の主面上に設けられた、非晶性を有する重合体を含む樹脂(b)からなる  
一つ以上の層(B)とを含む光学フィルムであって、  
前記光学フィルムのNz係数Nzが1未満であり、  
前記層(B)の面配向係数Pが0.001以下である、光学フィルム。

30

【請求項2】

前記樹脂(a)の固有複屈折が正である、請求項1に記載の光学フィルム。

【請求項3】

前記結晶性を有する重合体が、脂環式構造を含有する、請求項1又は2に記載の光学フィルム。

【請求項4】

前記樹脂(b)の固有複屈折が正である、請求項1～3のいずれか一項に記載の光学フィルム。

40

【請求項5】

前記非晶性を有する重合体が、脂環式構造を含有する、請求項1～4のいずれか一項に記載の光学フィルム。

【請求項6】

前記樹脂(a)の冷結晶化温度Tcaと前記樹脂(b)のガラス転移温度Tgbとが、  
下記式を満たす、請求項1～5のいずれか一項に記載の光学フィルム。

- 60 Tgb - Tca 10

【請求項7】

前記層(A)と前記層(B)とが直接する、請求項1～6のいずれか一項に記載の光学

50

フィルム。

【請求項 8】

前記層 ( B ) として第一の層 ( B ) と第二の層 ( B ) とを含み、前記第一の層 ( B ) と前記第二の層 ( B ) との間に、前記層 ( A ) が配置されている、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の光学フィルム。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の光学フィルムと、偏光子とを含み、前記層 ( A ) と前記偏光子との間に、一つの前記層 ( B ) が配置されている、偏光フィルム。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の光学フィルムの製造方法であって、  
前記結晶性を有する重合体を含む樹脂 ( a ) からなる基材フィルムを用意する工程 ( 1 ) と、

前記基材フィルムの二つの表面のうち、少なくとも一つの表面上に、前記非晶性を有する重合体を含む樹脂 ( b ) 及び溶媒を含む樹脂溶液を塗工して塗工層を形成して積層フィルムを得る工程 ( 2 ) と、

前記積層フィルムを乾燥させて、前記塗工層から前記層 ( B ) を得て、及び前記基材フィルムから、厚み方向における複屈折が変化した前記層 ( A ) を得る工程 ( 3 ) と、  
を含む、光学フィルムの製造方法。

【請求項 11】

前記工程 ( 3 ) の後に、更に前記積層フィルムを延伸する工程 ( 4 ) を含む、請求項 10 に記載の光学フィルムの製造方法。

10

20

30

40

50